

# 日本国内における 営農型太陽光発電の現状

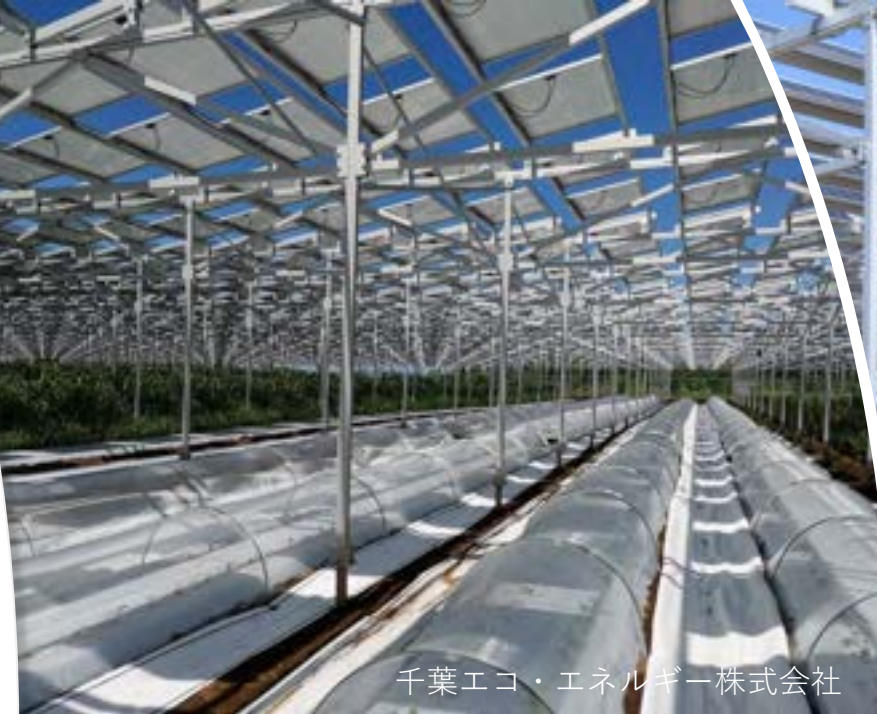
一般社団法人ソーラーシェアリング推進連盟

代表理事 馬上丈司

# 営農型太陽光発電の現状

- 発電事業による**農業者の所得向上**から、**遊休農地や荒廃農地の再生、優良農地の保全、農業生産におけるエネルギー転換、気候変動への適応策としての選択**など幅広い活用が進んでいる。
- 担い手による営農や第2種・第3種農地の活用、荒廃農地の再生について一時転用許可における長期間の許可が認められるようになったことで、**農地の活用目線が多様化**。
- **農業・農村が社会に対してエネルギーと食料の供給を担う役割を取り戻す**と共に、**農業生産への再生可能エネルギー活用の活用によって真の食料自給を達成し食料安全保障に貢献するもの**。

多様化する  
営農型太陽光  
発電の事例



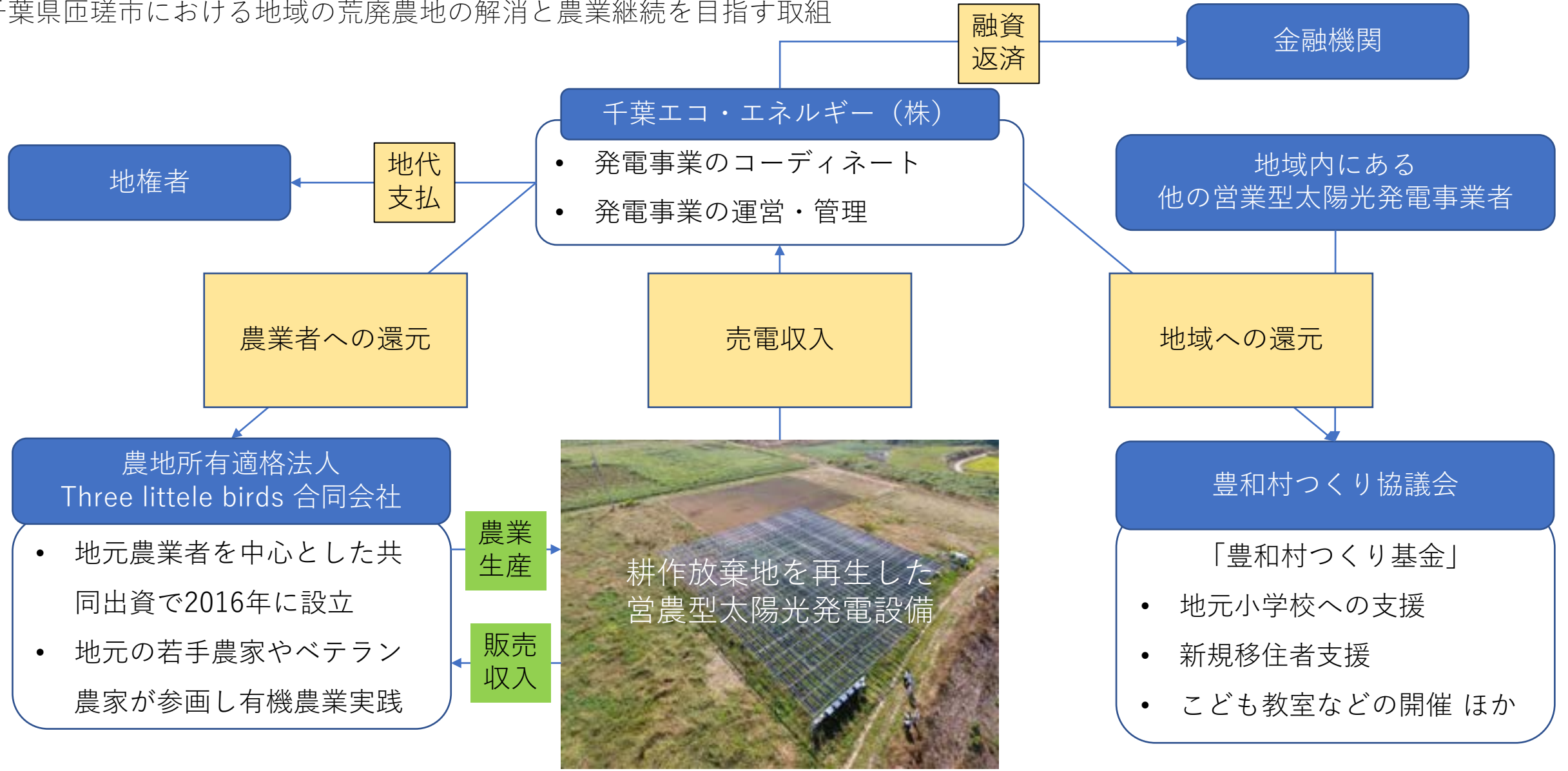
# 多様化する 営農型太陽光 発電の事例



農産物の生産  
販売実績も  
大きく広がる



営農型太陽光発電による地域還元スキーム  
 千葉県匝瑳市における地域の荒廃農地の解消と農業継続を目指す取組



営農状況に  
疑問のある  
事例も増加



# 営農型太陽光発電と農地制度の課題

- 農地においては所有権等の登記情報や土地境界が不正確であることが多く、特に荒廃農地等の活用に際して障害になる事例が見受けられる。農地そのものに関する正確な情報の整備が必要。
- 農業機械の電化が見込まれる中で、農村地域における再生可能エネルギー発電設備、配電線、充電・蓄電設備等を含むエネルギーインフラの拡充が必要になることから、農業振興地域整備計画等において営農型太陽光発電等の再生可能エネルギー設備も広く含めていくことが必要。
- 農業生産状況が芳しくない営農型太陽光発電設備に対して、是正・改善指導を図るための官民による体制作りが必要。



# 営農型太陽光発電の目指すもの

- 営農型太陽光発電は**農地における農業生産の継続が第一**であり、発電事業は**農業生産と共存しそれを支えていくもの**として、**優良農地の保全から荒廃農地の発生抑制・再生にまで貢献**する。
- 営農型太陽光発電によって農業生産が継続されることで、**長期に亘る農地保全**が図られたり、**地域の若手農業者への生産継承**が進んだり、**新規就農の促進**が図られたりする効果が出ている。
- 気候変動の影響がより深刻化する中で、**再生可能エネルギーや太陽光パネルによる遮光環境を活かした農業生産のあり方も模索し、スマート農業などの活用の糸口**ともなっていく。

次世代育成や  
就農促進で  
未来を拓く

